

# ファイブロック®

区画貫通用テープ

保温材付スーパーエスロメタックス用

国土交通大臣認定品、(一財)日本消防設備安全センター性能評定品

### 取扱説明書

貫通する防火区画

コンクリート壁・床  
ALC壁・床  
中空壁・片壁

#### 製品仕様

品名	品番	厚さ	幅	巻長さ
ファイブロック 保温材付スーパー エスロメタックス用	FIB-FC	4.24mm	120mm	1.3m

#### 認定シールおよび評定マークのご案内

弊社では、防火区画貫通部の措置にファイブロック区画貫通措置部材をご使用いただいた場合、国土交通大臣認定を取得していることを示す『認定シール』をご用意しております。また、特定共同住宅等にご使用の場合、(一財)日本消防設備安全センター発行の『評定マーク』または『評定一括プレート』の貼付が必要です。ご請求方法は、1現場ごとに弊社ファイブロックHP経由WEBでの申請、または別紙『認定シール・評定マーク請求書』によるFAX申請にてお願いいたします。申請内容を確認の上、ご請求枚数の『認定シール、評定マーク等』を送付させていただきます。



WEB申請はこちらから  
<https://www.sekisui.co.jp/fp/>

#### 適用範囲

壁 ●用途／給水管、給湯管、冷水管

##### ALC・コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	開口寸法	国土交通大臣認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号
				共住区画
被覆金属強化ポリエチレン管 (スーパーエスロメタックスFC)	保温厚30mm以下	50A	PS060WL-0715	/
	保温厚20mm以下	25A		
		150mm×250mm以下 φ150mm以下	PS060WL-0373	KK19-148号

##### 中空壁(厚100mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	開口寸法 (外径+20mm以下)	国土交通大臣認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号
				共住区画
被覆金属強化ポリエチレン管 (スーパーエスロメタックスFC)	保温厚30mm以下	50A	PS060WL-0719	/
	保温厚20mm以下	25A		
		φ93mm以下	PS060WL-0409	KK20-008号

※保温厚30mm以下について:壁厚110mm以上に使用する場合の施工方法につきましては、P.3標準施工例をご参照ください。

※保温厚20mm以下について:共住区画の場合 両面強化石膏ボード重張軽量鉄骨下地+グラスウール充填。

##### 片壁(厚42mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	開口寸法 (外径+20mm以下)	国土交通大臣認定番号
被覆金属強化ポリエチレン管 (スーパーエスロメタックスFC)	保温厚30mm以下	50A	PS060WL-0698

床 ●用途／給水管、給湯管、冷水管

##### ALC・コンクリート(厚100mm以上)

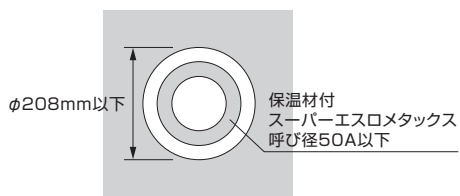
貫通配管種	使用最大配管呼び径	開口寸法	国土交通大臣認定番号
被覆金属強化ポリエチレン管 (スーパーエスロメタックスFC)	保温厚30mm以下	50A	PS060FL-0714

●詳しくは各認定書・評定書をご確認ください。

## 標準施工例 [ALC・コンクリート壁/保温材30mm以下の場合]

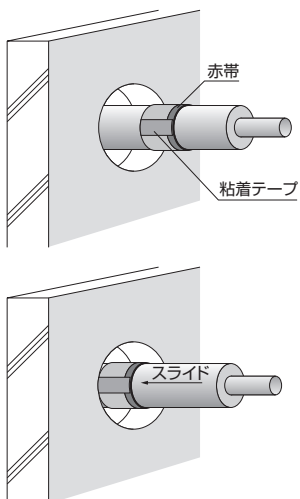
### 1. 開口部の設置

- 保温材付スーパーエスロメタックスが貫通する場所に開口部(208mm以下)を設けます。



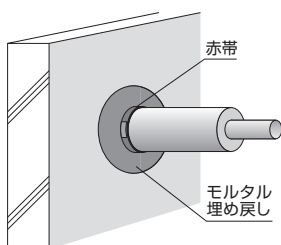
### 2. フィブロック区画貫通テープの巻き付け

- 表面の埃・汚れを除去します。
- 保温材付スーパーエスロメタックスの上から一周巻きつけるのに可能な長さにテープをカットします。
- 赤帯部分が施工後確認できるように、フィブロックを管に巻きつけ、粘着テープで固定します。(フィブロックは突き付け・オーバーラップのどちらでも可能です)
- 赤帯が壁面から数mm~10mm以下のはみ出し量となるように、フィブロックをスライドさせてください。



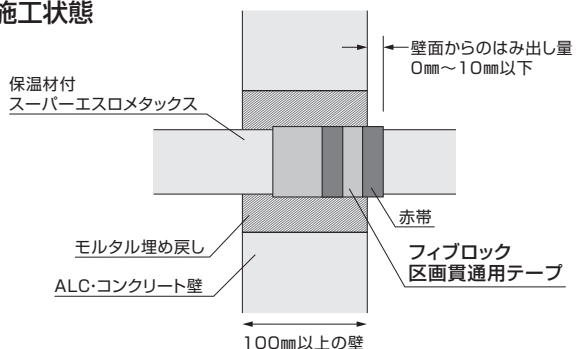
### 3. モルタルの埋め戻し

- 管と開口部の隙間をモルタルで充填します。



※フィブロックの赤帯部分が壁から数mm~10mm以下でいることを確認してください。

### ◎施工状態



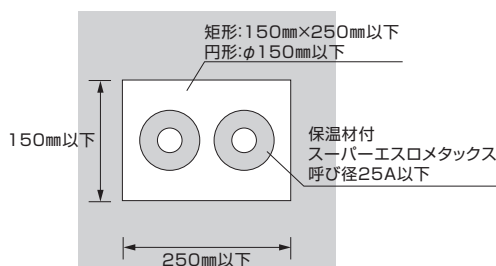
※フィブロックの赤帯部分が壁から数mm~10mm以下でいることを確認してください。

⚠ (一財)日本消防設備安全センターの評定を取得しておりませんので、  
共住区画の貫通部には使用できません。

## 標準施工例 [ALC・コンクリート壁/保温材20mm以下の場合]

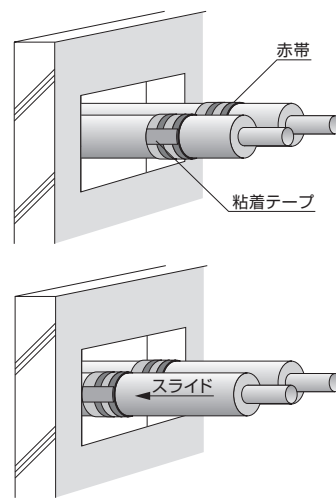
### 1. 開口部の設置

- 保温材付スーパーエスロメタックスが貫通する場所に開口部(矩形:150mm×250mm以下、円形:φ150mm以下)を設けます。



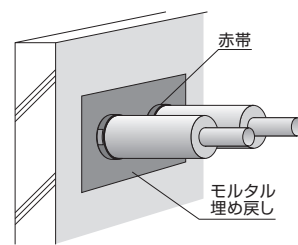
### 2. フィブロック区画貫通テープの巻き付け

- 表面の埃・汚れを除去します。
- 保温材付スーパーエスロメタックスの上から一周巻きつけるのに可能な長さにテープをカットします。
- 赤帯部分が施工後確認できるように、フィブロックを管に巻きつけ、粘着テープで固定します。(フィブロックは突き付け・オーバーラップのどちらでも可能です)
- 赤帯が壁面から数mm~20mm以下のはみ出し量となるように、フィブロックをスライドさせてください。



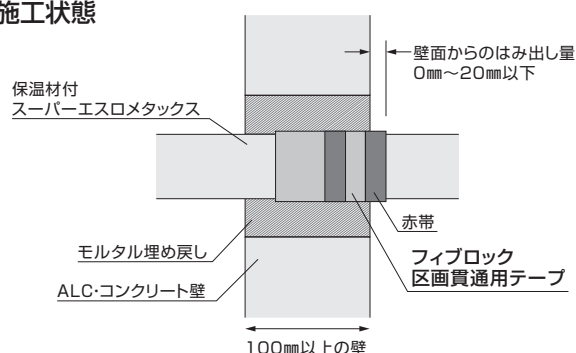
### 3. モルタルの埋め戻し

- 管と開口部の隙間をモルタルで充填します。



※フィブロックの赤帯部分が壁から数mm~20mm以下でいることを確認してください。

### ◎施工状態

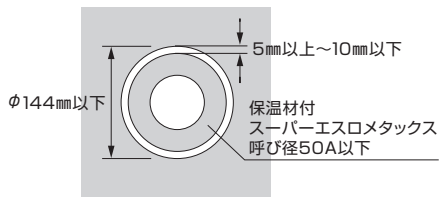


※フィブロックの赤帯部分が壁から数mm~20mm以下でいることを確認してください。

## 標準施工例 [中空壁/保温材30mm以下の場合]

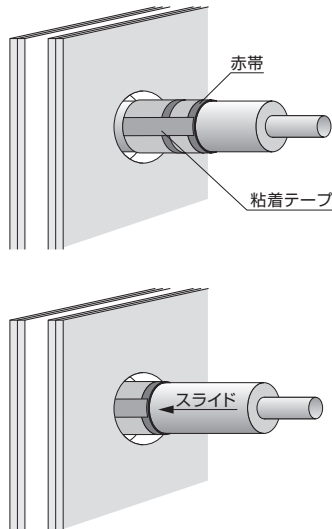
### 1. 開口部の設置

- 保温材付スーパーエスロメタックスが貫通する場所に開口部(φ144mm以下)を設けます。



### 2. フィブロック区画貫通テープの巻き付け

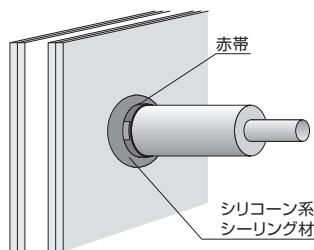
- 表面の埃・汚れを除去します。
- 保温材付スーパーエスロメタックスの上から一周巻きつけるのに可能な長さにテープをカットします。
- 赤帯部分が施工後確認できるように、フィブロックを管に巻きつけ、粘着テープで固定します。(フィブロックは突き付け・オーバーラップのどちらでも可能です)
- 赤帯が壁面から0mm~10mm以下のみ出し量となるように、フィブロックをスライドさせてください。



### 3. 開口部のシーリング処理

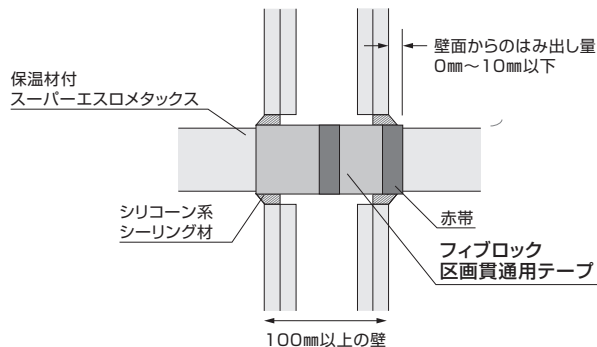
- 管と開口部の両側の隙間をシリコン系シーリング材で充填します。
- 使用可能なシーリング材

建築用シーリング材(JIS A 5758)  
シリコン系  
※推奨品:セキスイシリコンシーラント



※フィブロックの赤帯部分が壁から0mm~10mm以下でていることを確認してください。

### ◎施工状態



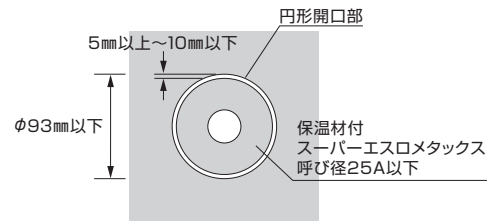
※壁厚110mm以上を使用する場合は、壁の開口部両側に赤帯が出るようにフィブロック2枚をオーバーラップさせて巻きつけてください。

⚠ (一財)日本消防設備安全センターの評定を取得しておりませんので、  
共住区画の貫通部には使用できません。

## 標準施工例 [中空壁/保温材20mm以下の場合]

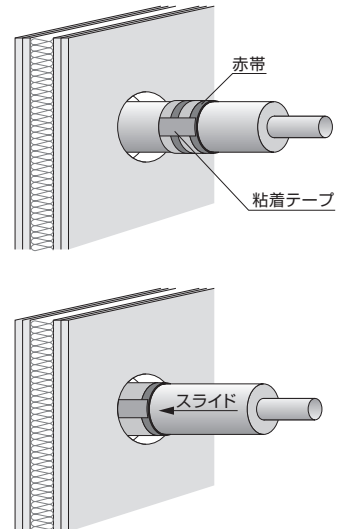
### 1. 開口部の設置

- 保温材付スーパーエスロメタックスが貫通する場所に開口部(φ93mm以下)を設けます。



### 2. フィブロック区画貫通テープの巻き付け

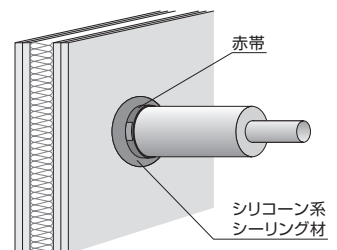
- 表面の埃・汚れを除去します。
- 保温材付スーパーエスロメタックスの上から一周巻きつけるのに可能な長さにテープをカットします。
- 赤帯部分が施工後確認できるように、フィブロックを管に巻きつけ、粘着テープで固定します。(フィブロックは突き付け・オーバーラップのどちらでも可能です)
- 赤帯が壁面から数mm~20mm以下のみ出し量となるように、フィブロックをスライドさせてください。



### 3. 開口部のシーリング処理

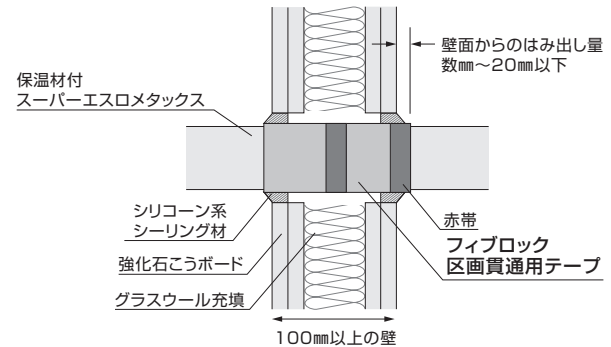
- 管と開口部の両側の隙間をシリコン系シーリング材で充填します。
- 使用可能なシーリング材

建築用シーリング材(JIS A 5758)  
シリコン系  
※推奨品:セキスイシリコンシーラント



※フィブロックの赤帯部分が壁から数mm~20mm以下でていることを確認してください。

### ◎施工状態

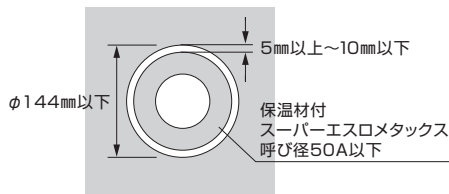


※フィブロックの赤帯部分が壁から数mm~20mm以下でていることを確認してください。

## 標準施工例 [片壁/保温材30mm以下の場合]

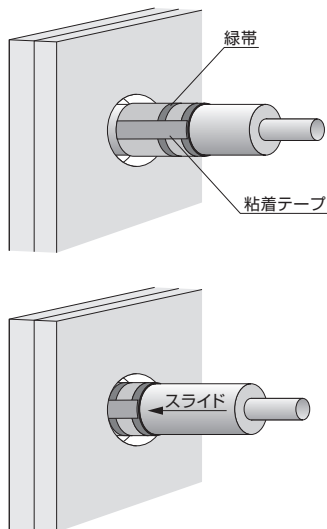
### 1. 開口部の設置

- 保温材付スーパーエスロメタックスが貫通する場所に開口部(φ144mm以下)を設けます。



### 2. フィブロック区画貫通テープの巻き付け

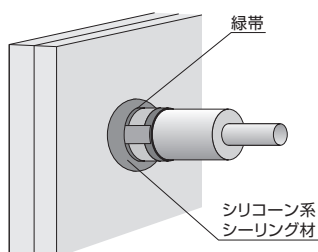
- 表面の埃・汚れを除去します。
- 保温材付スーパーエスロメタックスの上から一周巻きつけるのに可能な長さにテープをカットします。
- 緑帯部分が施工後確認できるように、フィブロックを管に巻きつけ、粘着テープで固定します。(フィブロックは突き付け・オーバーラップのどちらでも可能です)
- 緑帯がある側が壁面から35mm~40mm以下のはみ出し量となるように、フィブロックをスライドさせてください。



### 3. 開口部のシーリング処理

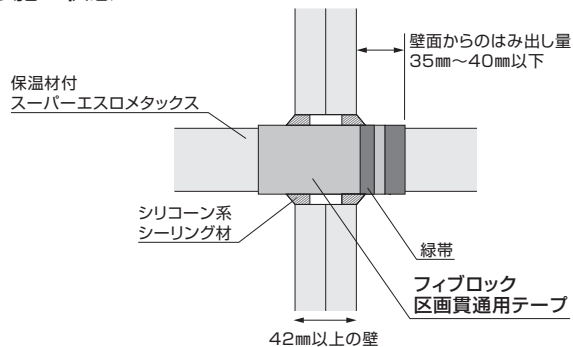
- 管と開口部の両側の隙間をシリコン系シーリング材で充填します。
- 使用可能なシーリング材

建築用シーリング材 (JIS A 5758)  
シリコン系  
※推奨品:セキスイシリコンシーラント



※フィブロックの緑帯がある側が壁面から35mm~40mm以下でいることを確認してください。

### ◎施工状態



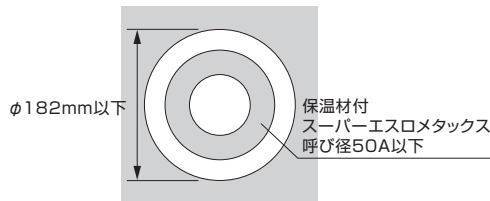
※フィブロックの緑帯がある側が壁面から35mm~40mm以下でいることを確認してください。

⚠ (一財)日本消防設備安全センターの評定を取得しておりませんので、共住区画の貫通部には使用できません。

## 標準施工例 [ALC・コンクリート床/保温材30mm以下の場合]

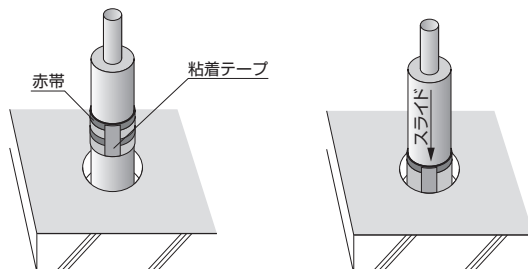
### 1. 開口部の設置

- 保温材付スーパーエスロメタックスが貫通する場所に開口部(φ182mm以下)を設けます。



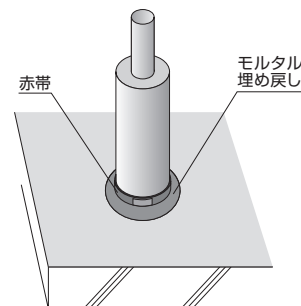
### 2. フィブロック区画貫通テープの巻き付け

- 表面の埃・汚れを除去します。
- 保温材付スーパーエスロメタックスの上から一周巻きつけるのに可能な長さにテープをカットします。
- 赤帯部分が施工後確認できるように、フィブロックを管に巻きつけ、粘着テープで固定します。(フィブロックは突き付け・オーバーラップのどちらでも可能です)
- 赤帯が床から0mm~10mm以下のはみ出し量となるように、フィブロックをスライドさせてください。



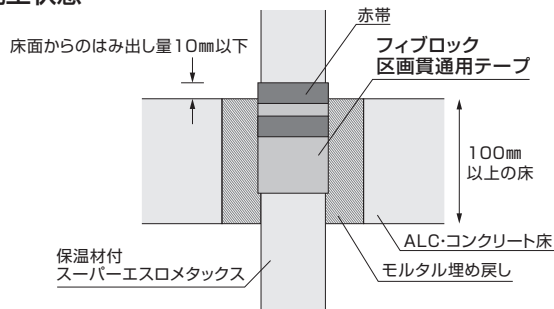
### 3. モルタルの埋め戻し

- 管と開口部の隙間をモルタルで充填します。



※フィブロックの赤帯部分が床から0mm~10mm以下でいることを確認してください。

### ◎施工状態



※フィブロックの赤帯部分が床から0mm~10mm以下でいることを確認してください。

⚠ (一財)日本消防設備安全センターの評定を取得しておりませんので、共住区画の貫通部には使用できません。

## ⚠ 注意事項

- フィブロックの用途、使用条件の詳細については各認定書・評定書、カタログをご確認ください。
- 水濡れや直射日光、高温下は避けて運搬・保管してください。
- 紫外線や水、薬品等のかかるところ、高温多湿の環境下、結露する場所では使用しないでください。
- フィブロックの帯は壁面及び床スラブ面より規程の長さ以下出すようにしてください。
- 帯の幅は10mmではないので、帯を全部出さないようにしてください。
- 壁用・床用の条件があるものは、用途に合わせてご使用ください。
- 区画貫通部以外の配管露出部に使用しても効力を発揮しません。
- 防火区画貫通について不明な点は、所轄の行政機関へご確認ください。
- フィブロックの幅は規程の寸法となっていますので、幅を変えて使用しないでください。
- 残材や使用後の廃材の処分は、法令及び地方自治体の条例に従ってください。

製造元 **積水化学工業株式会社**

耐火材料事業部

<https://www.sekisui.co.jp/fp/>



販売元 **積水マテリアルソリューションズ株式会社**

耐火資材営業所

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-3-6

TEL 03(6744)5806 FAX 03(6744)5807

●お問い合わせは上記連絡先をお願いいたします。

\*本製品は改良のため予告なく仕様変更する場合があります。

ツールコード

No. 07325

(FP025T)

2023. 3. TX

# ファイブロック® 保温材付スーパーエスロメタックス用 認定シール・認定マーク請求書

「認定シール」または「認定マーク」のご請求に関しましては、下記方法にてお受けいたします。



WEB申請はこちらから  
<https://www.sekisui.co.jp/fp/>

## FAX.03(6744)5807

### 1. ご使用状況

現場名					
施主名					
現場所在地					
規模	階高：	階	延べ面積：	㎡	
工事予定日	着工予定：	年	月	日	完了予定：年 月 日
ゼネコン名					
サブコン名					
工事業名					
ファイブロックご購入店					TEL. ( ) -

### 2. 認定マーク/一括プレート・認定シールご請求枚数

認定マークご請求数	
共住区分画用	
壁	枚
床	枚

※認定マークは区分画貫通部1ヶ所ごとに1枚必要です。

認定一括プレートご請求数	
認定番号	枚数
KK 19-148号	枚=棟
KK 20-008号	枚=棟

※特定共同住宅にご使用の場合は認定マークまたは認定一括プレートをご請求ください。  
※認定一括プレートは防火対象物ごとに1枚必要です。

認定シールご請求数	枚
-----------	---

◆令8・共住区分画に該当しない建築基準法上の防火区分画での施工時に貼付していただく「認定シール」を別途ご用意しております。  
※法律上「認定シール」を貼付する義務はありません。

### 3. 施工のご確認

認定工法に従って施工されたことを  
ご確認の上、こちらへご署名ください。



(印)
-----

●初めてご使用の場合は、チェックをお願いします。

### 4. 送付先

貴社名				
所属部署名			ご担当名	
ご住所	〒			
お電話番号	( ) -	携帯番号	( ) -	
E-mail	@			

※必要事項をご記入の上、FAXにてご請求ください。上記ご送付先に認定シール・認定マーク・認定一括プレートを送付させていただきます。  
※現場に送付する場合は現場名も必ずご記入ください。

●お手元に届くまでに数日かかりますので、ご請求はお早めをお願いいたします。

認定シール・認定マークのお問い合わせに関して下記にてお受けいたします。

## 積水マテリアルソリューションズ株式会社

耐火資材営業所

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-3-6

TEL03(6744)5806 FAX03(6744)5807